

今回は、学校推薦型選抜を活用した進路実現の報告その5です。

◇ 高崎経済大学地域政策学部の合格体験記（丸山愛未さん）です！

私は、この度推薦入試で高崎経済大学地域政策学部に合格させていただきました。
私の強みになった活動は、ぶうめらん、部活動、探究活動の三つです。



一つ目のぶうめらんで、三年間取材活動を行いました。関市で働き、活躍する大人の方を取材することで視野が広がり、関市の働き場所としての魅力、そして住む地域としての魅力に迫ることが出来ました。

ぶうめらんでの活動は、私の高校生活だけでなく、今後の進路決定にも大きく影響を与えてくれました。私は、三年生の夏休み後半まで自分が一体どんな事を大学で学びたいのか、ましてどこの大学に進学すれば良いのかも分からずにいました。担任の先生とも何度もお話をしながら、冷静に自分のやりたい事と向き合っ

てみた時、高校三年間の興味が、ぶうめらんで占められていることに気がきました。そしてぶうめらんのスタッフの方々にも相談に乗っていただき、その後地域政策の道に進みたいと自信をもって決断することが出来ました。

また面接の時にも、ぶうめらんの活動を掘り下げていただけました。ぶうめらんを通して、コミュニケーション力や文章力も育むことが出来たので、活動内容に加えて得られるものが大きかったと感じています。

※ぶうめらん 関市のフリーマガジン

二つ目の部活動では、放送部としてアナウンスを行いました。日々の部活動での基礎練習を怠らないことを意識し、やるからにはきちんとやる、という心構えで部活に向き合いました。

一緒に部活を行う仲間や顧問の先生、外部指導の先生の支えのお陰で、大会やイベント、行事の場でアナウンスをする機会をいただけました。部活動に打ち込んだという事実は、その結果に関係なく、責任と最後までやりきる事の大切さを私に教えてくれました。部活動での経験も、推薦入試を受験する上で私の心強い武器になりました。



三つ目の探究活動は、先に述べた二つの活動が実を結び、先生が挑戦するチャンスを与えて下さったことで、取り組むことが出来たと感じています。フォーラムや校内で発表する場に参加し、地域活性化の目線から考える、持続可能な地元の在り方について、考えを深めることが出来ました。ぶうめらんと放送部でのそれぞれの活動が、このような機会につながり



ました。なので、自分でやり始めた活動にコツコツと打ち込むことが大切だと実感しています。活躍する場を用意して下さる先生方が居り、のびのびと校外活動を行える、関高に通うことが出来て良かったと今思います。様々な活動に参加してきたことは強みになり、活動実績に対する心配をすることなく入試に臨むことが出来ました。

これらの活動が実績となり、経験となったことが大学へ進学する際の大きな足掛かりになりました。私は、大学入試を経て、今までの様々な活

動に丁寧に取り組んできて良かったと心から思います。大学を目指す際に推薦入試を利用するかしないかは関係なく、目の前に丁寧に取り組むことが大切なのだと、私は感じます。学校の勉強が苦手だった私は、その対象が部活を始めとする学内の活動であっただけであり、勉強は勿論、部活動や課外活動など皆さんの目の前には沢山のモノゴトが並んでいることと思います。

それらを前に、自分がいま大切にしたいものが何かを考え、やると決めたら丁寧に取り組んでみるのが、今後の進路や人生の助力に必ずなります。

是非小さな一歩から初めてみて下さい。迷いながらも、不安でも、進み続けてほしいと思います。一年後、ふとしたときにこれまでの自分の頑張り支えられていたことに気付く日が来ます。それは思いもよらない形かもしれません。一年後のことは勿論、明日、何が起こるかなんて誰にも分かりません。自分自身のことを早々に決めつけることはせず、どうか目の前に並んでいるチャンス、掴んでほしいと思います。

